

中学生と保護者の願い

1 小学校と中学校の違いはどんなことでしょうか

中学校では小学校と比べて次の二点で大きく異なります。

一 中学校での学習内容

一日一週間の学習時間は小学校のときよりも多くなり、教科も増えて、一教科の学習時間も五〇分と多くなります。

また、学級担任は朝や帰りの学級活動や自分の教科の時間だけで、それ以外は教科ごとに先生が替わりま

教科の呼び方も小学校のときと異なるものも出てき

ます。たとえば、算数を数学、図工を美術というようになりま

ます。また、外国語（ほとんどが英語）のように新しく学習する教科も出てきます。いずれも小学校の学習を基礎にして、無理なく学習が進められていきますので、子どもたちには早く中学校での学習の仕方に慣れるようにアドバイスをすることが必要でしょう。特別活動には、学級活動、生徒会活動、学校行事があります。進路に関する学習（進路指導）は、主に学級活動の時間に行われます。「道徳」は小学校のとき

と同じように週一時間学ぶことになっていきます。

二 中学校生活のあらまし

中学校では、生徒がいくつかの小学校から集まってくるので、生徒数も増え、今まで以上に交友関係や行動範囲が拡大してきます。

多くの中学校では、学級活動をはじめ、生徒会活動、部活動、学校行事などが活発に行われています。入学式や生徒会オリエンテーション（新入生説明会）、保護者会などで学校側からの説明がありますので、それぞれの活動の内容をよく知り、子どもには何事も進んで参加し、中学校生活に一日も早く慣れるようにアドバイスをしてください。その内容は次のとおりです。

一言アドバイス

中学校では教科ごとに先生が替わります。各先生方の個性を見て、良いところを学ぶように子どもにもアドバイスしておくことも「将来の生き方」を考え、子どもが成長していく上で勉強になることです。

(一) 学級活動の内容

学級活動では、学級や学校の生活を楽しく豊かにするために、学級のみなどで協力して活動を進めたり、将来の自分の生き方や進路を学んだり（進路学習）します。

主な活動には、次のようなものがあります。

- ①学級や学校生活で起こるいろいろな問題に取り組んだり、学級内の組織をつくったり、仕事の分担をしたりする
- ②個人や社会の一員としての自覚をもち、学習に意欲的に取り組む、健康で安全な生活を送る
- ③将来の進路を選択し、自分の生き方を学ぶ

